

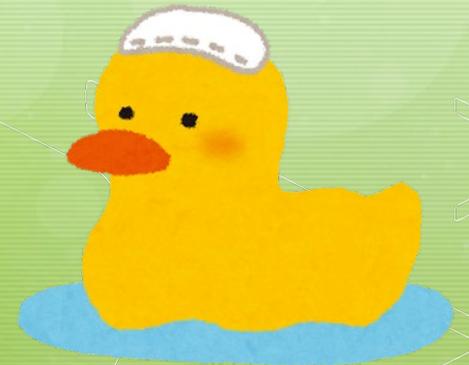
「私」のための入浴

～ハードを支えるソフトとシステム～

浦安エデンの園 ケアサービス課 一般居室係

平 桃子

鈴木 真紀



はじめに



入浴する効果

リラックス
血行促進
など

介助者の負担

作業環境
安全配慮
など

「入りたい・入りたくない」など希望は様々

当園の浴槽

大浴室(男性・女性)



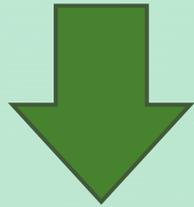
介護棟1階(個浴1・機械1)



介護棟2階(個浴1・機械1)



新型コロナウイルスの感染拡大



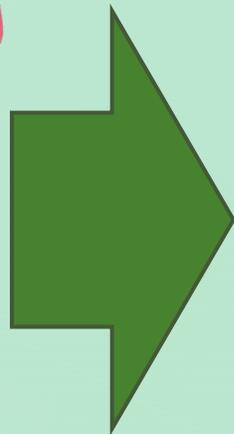
介護棟閉鎖



一般居室の入浴希望者にも
制限のご協力をいただく



新規希望者の増加
他業務への影響



業務改善

業務改善

より良いサービスが提供
できるのではないかと？

業務改善

目的

職員が共通認識をもつことで、一人一人が

気持ちの良い「私」のための入浴！と思えるような

サービスを提供すること

方法

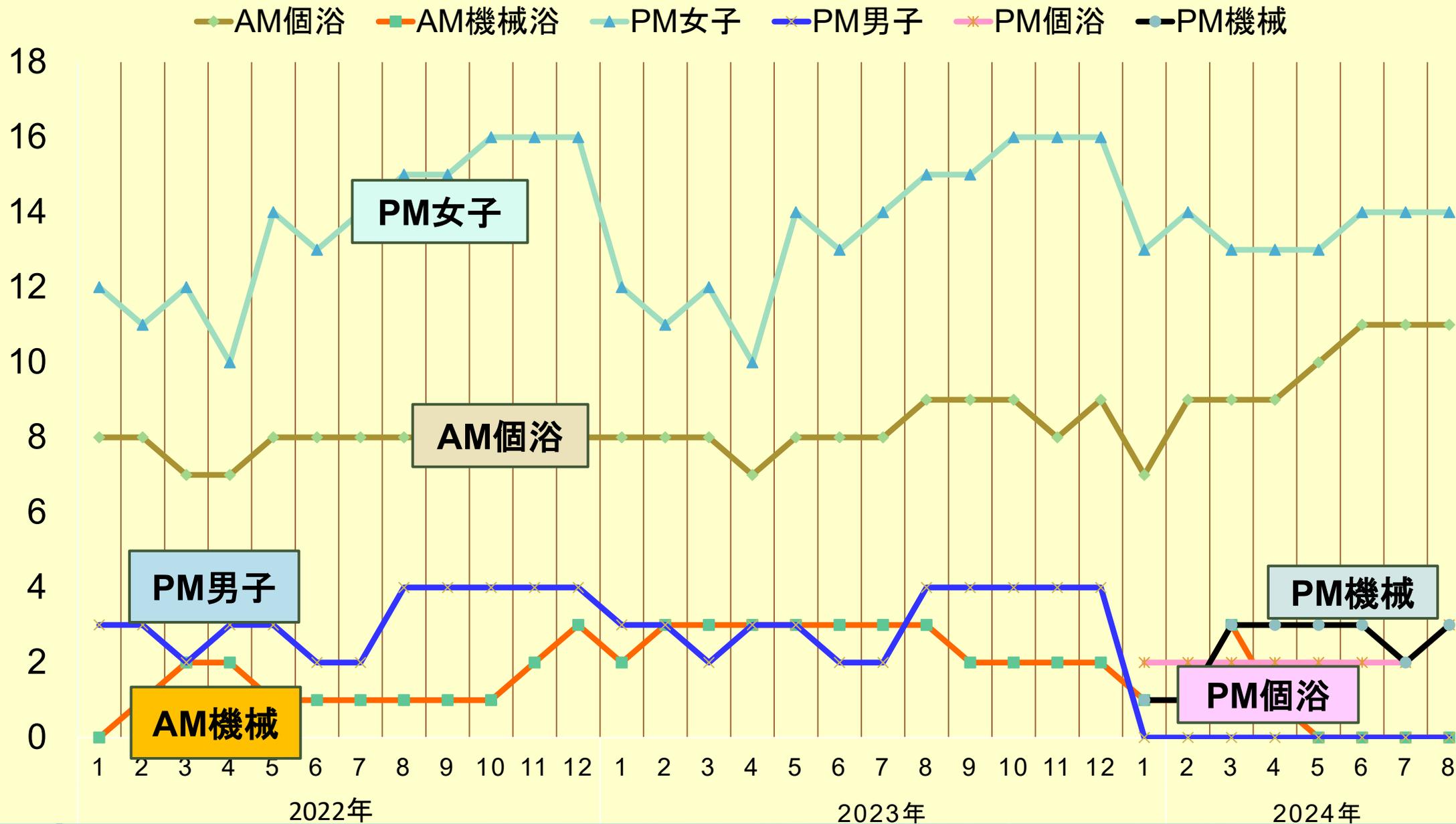
- ・2022年度から2024年度の入浴者数の増減を把握
- ・入浴についてのカンファレンスを実施
 - 入浴希望者の増加に対応し業務改善やサービス調整が必要になった事例を抽出
 - 業務改善において大切にすべき視点を共有し、個々のサービスに繋げる

倫理的配慮

個人が特定されないよう配慮し、書面にて説明の上同意を得た。

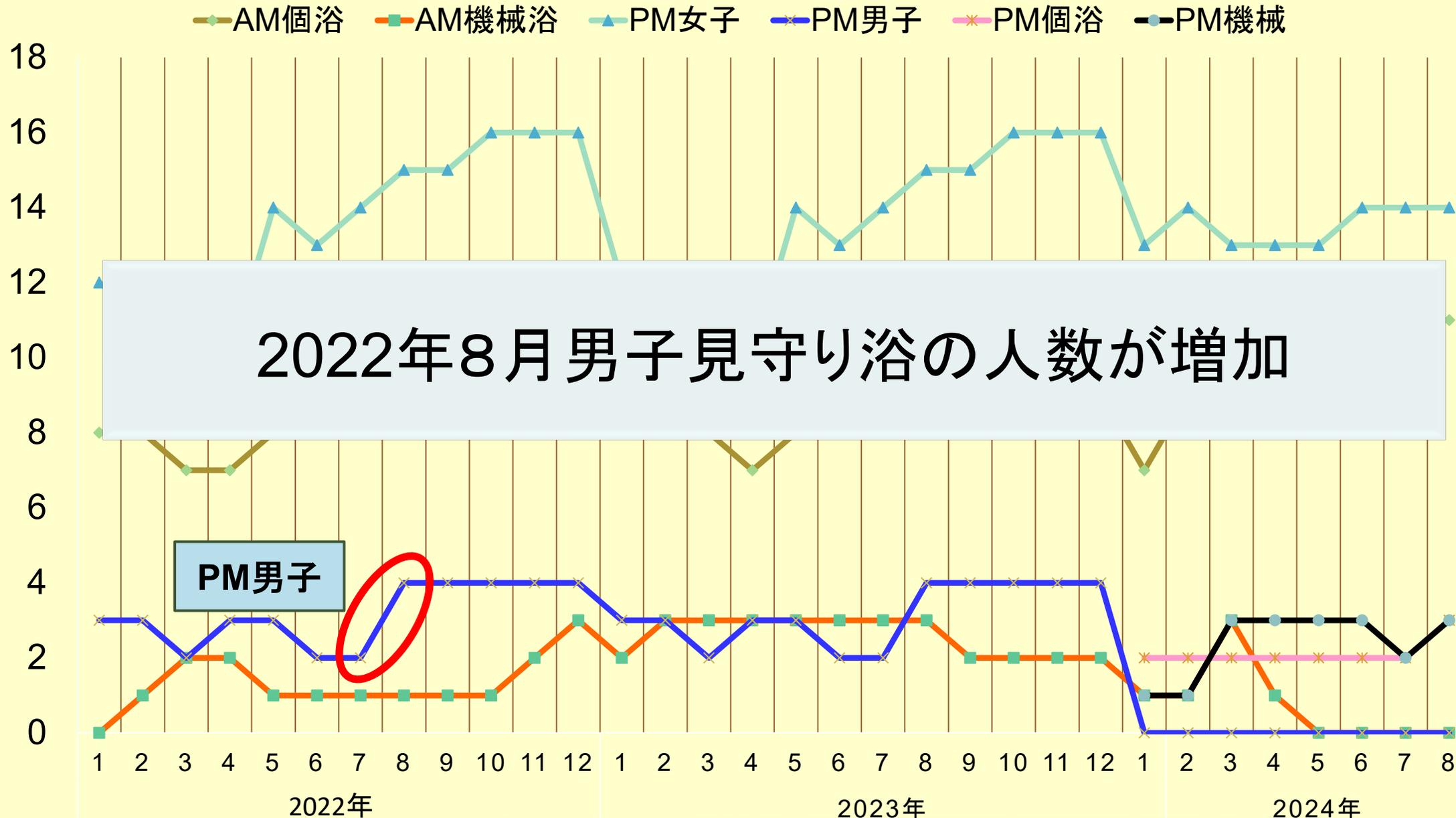
結果

入浴者数の推移



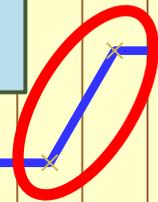
事例1

入浴者数の推移



2022年8月男子見守り浴の人数が増加

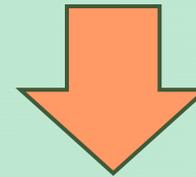
PM男子





入居者同士のトラブルが発生

- ・脱衣所で人とかぶりたくない
- ・決まった時間に入りたい

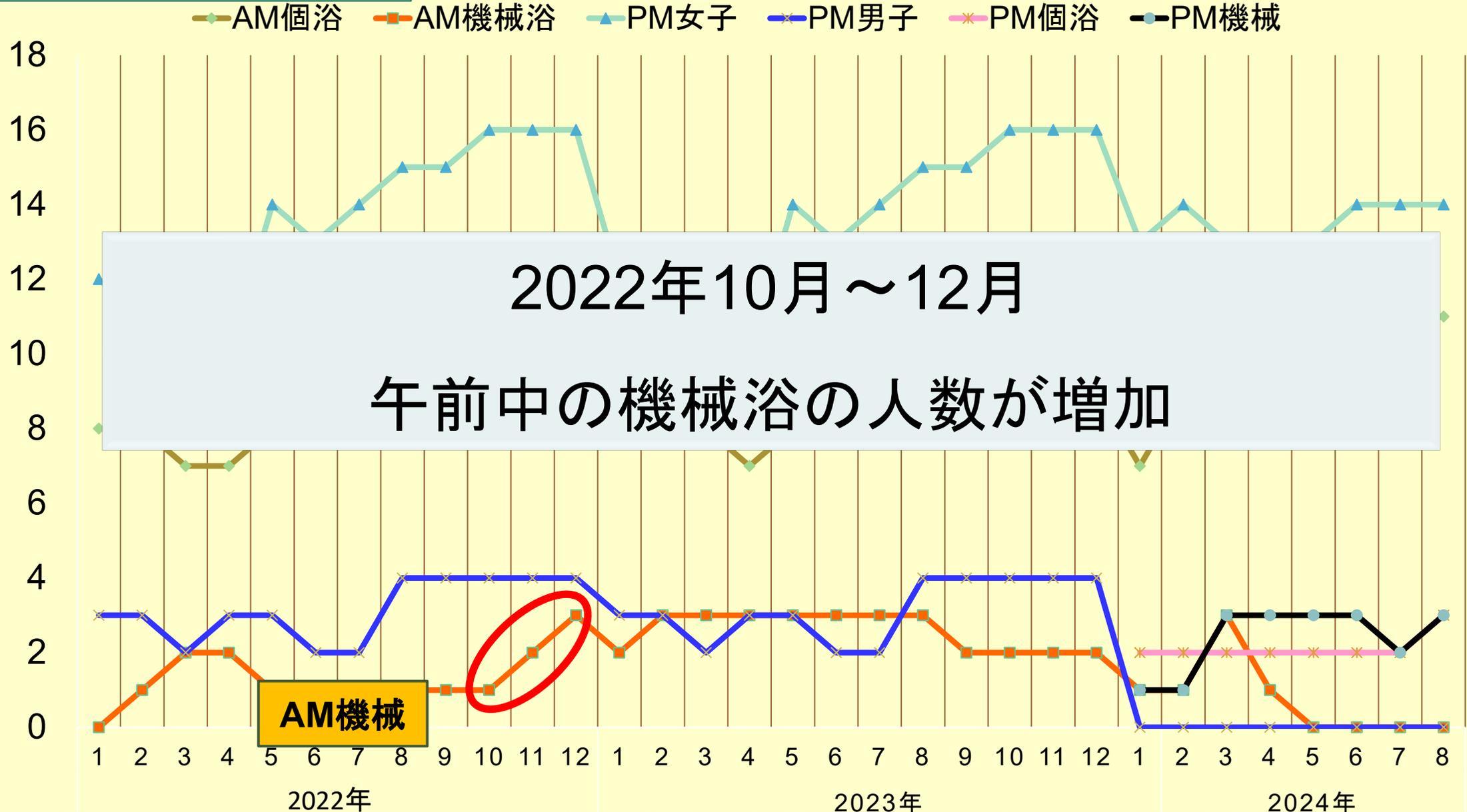


カンファレンスを実施

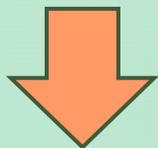
時間調整と職員との連携で解決！

事例2

入浴者数の推移



午前の個浴は新規入浴希望者の
対応が難しい



カンファレンス実施
人員配置を変更



工夫すれば午後にも個浴を
実施できる！

歩行状態が悪化

個浴が望ましい

午後に入りたい

A様



事例3

入浴者数の推移

AM個浴 AM機械浴 PM女子 PM男子 PM個浴 PM機械



個浴から
場所変更



シャワーフック

台

パーテーション

広くて寒い
のが嫌



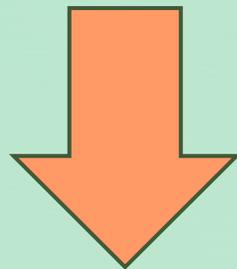
個浴の環境に
近づける



マニュアル化できない



カンファレンスはいつする？



職員が共通認識を持つことが必要！

ケア内容変更時更新

①ケアプラン(※)へて修正・追記、日付記載
 ②課題整理時経過表(左)の作成または修正
 ③各チェックリストの変更(食事・清掃・訪家など)
 ④予定管理の入力、変更

月初めに出すもの

- カレンダー(作成、チェック済みのもの)
- タブレット管理台帳
- 職員健康チェック表(感染症流行期に応じて)
- 健康情報提供書(別マニュアルあり)

行動指針

明るく、元気に発声しましょう。

『ご入居者の安全・安心を第一に考え行動します。』
 『相手の立場に立ち共感をもって寄り添い行動します。』
 『【もっと良くするために】を常に考え行動します。』
 『全員で協力し最善を尽くし行動します。』

今日も一日よろしくお勤めします。

入浴メソッド

①午前浴は連携が必須。
 ②着替えのペースを考える。誘導にかかる時間を逆算。
 ③男女脱衣場の活用で、交代をスムーズに。
 ④食事や午後もあるので、ムリに急がない！！

⑤新規入浴希望者(必要者)、機械浴への移行→カンファレンス実施。事前に習慣や好み(大浴小浴・時間など)をうかがう。

⑥ADL低下により好みの浴室利用が難しくても、満足できる代替えを。

⑦キャンセルが出た際は、一時介護の方・●様の誘導チャレンジ👍

入浴メソッド

⑤午前浴は連携が必須。
 ①着替えのペースを考える、誘導にかかる時間を逆算。
 ②男女脱衣場の活用で、交代をスムーズに。
 ③食事や午後もあるので、ムリに急がない！！

⑤新規入浴希望者(必要者)、機械浴への移行→カンファレンス実施。事前に習慣や好み(大浴小浴・時間など)をうかがう。

⑥ADL低下により好みの浴室利用が難しくても、満足できる代替えを。

⑦キャンセルが出た際は、一時介護の方・●様の誘導チャレンジ👍

入浴メソッド

~~個浴~~

~~午前中~~



職員間の連携
共通認識を持つことで
誘導がスムーズに！



個浴

=

午後にも
実施

考察

限られた
浴槽

限られた
人員

限られた
時間

入居者個々の
気持ちを聞き取る



職員同士の
連携が欠かせない



職員が共通認識
を持つ

一人ひとりが
快適で気持ち
がいいと思える
入浴サービスを
提供できる



~~マニュアル化~~

職員が自ら考え行動していることや
大切にしている視点を
標準化し共有することが大切

時間の
確保

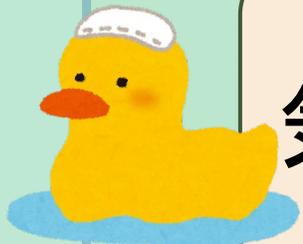
場所の
工夫

ハードは
変えられ
ない

ソフト
(職員間の
連携)

システム
(メソッド)

気持ちの良い「私」のための入浴を実現



今後の課題

基準を設ける

⇒ カンファレンスがスムーズに！

- ・浴槽までの移動に不安がある
 - ・座位保持が難しい
 - ・排泄に不安がある
- など

メソッドを使用しケアプランに連動

⇒ 個別性の高いサービスに！

- ・モニタリング
- ・カンファレンス結果を反映

ご清聴ありがとうございました



参考文献

- 学研<https://www.cocofump.co.jp/articles/kaigo/413/>
- 入浴介助における身体的・精神的負担に関する調査
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jergo/48spl/0/48spl_244/_pdf/-char/ja
- ユニットケアが目指すもの 一般社団法人日本ユニットケア推進センター
<https://www.unit-care.or.jp/about-unitcare/vision.html>
- 介護リーダーの超技法 著者...高口光子 雲母書房 2009年初版
- 浦安エデンの園ホームページ<https://www.seirei.or.jp/eden/urayasu/facilities/>